

## 案件概要書

2014年4月22日

国際協力機構南アジア部南アジア第二課

### 1. 案件名（国名）

国名： パキスタン・イスラム共和国

案件名：（和名）カラチ市内国道5号線改善計画

（英名）Project for Improvement of National Highway N5 in Karachi City

### 2. 事業の背景と必要性

#### (1) 当該国における運輸・交通セクターの開発実績（現状）と課題

カラチ市は、人口1,900万人を擁するパキスタン第1の都市であり、産業・金融の中心としてパキスタン全体の経済を牽引している。カラチ市の道路ネットワークは、比較的整備されているものの、都市鉄道等大量輸送交通機関は存在せず、年率4%の急激な人口増加、更には近年の乗用車・モーターバイクの急激な増加により、市内各所において深刻な交通渋滞が発生している。カラチ市内の主要道路約20路線では1日10万台を超える交通量があり、通勤ラッシュ時の移動速度は毎時15km前後となっている。深刻な交通渋滞は、カラチ市内の市民生活及び経済活動に大きな影響を与えており、工業集積の進むカラチへの外国投資促進の観点からも都市交通環境の改善が急務となっている。

国道5号線（以下「N5」と言う。）は、カラチ市において市街地とカラチ輸出加工地区・カシム港周辺工業地区を結び、また、カラチ市とパキスタン全土を結ぶ主要幹線道路でもあり、物流において重要な役割を担っている。カラチ市は、市内から工業地区を結ぶルート（シャラ・イ・ファイサル通り～N5）の容量拡大のための投資計画を持ち、既に自己資金でフライオーバー建設等の工事を始めている。一方、N5（Quaidabad～Pak Steel Town 区間）は片側2車線であるため交通渋滞が深刻化しており、その拡幅が喫緊の課題となっている。

#### (2) 当該国における運輸・交通セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

カラチ市が2007年に策定した「Karachi Strategic Development Plan 2020」（以下、「KSDP」と言う。）において、優先課題の1つとして、「競争力のある産業の育成」が挙げられており、そのための方策として工業地区を取り巻く交通網整備等の必要性が謳われている。また、JICAの支援によりKSDPに基づき2012年に作成された「カラチ都市交通マスタープラン」では、最も混雑が想定される幹線道路の1つとしてN5が指摘されており、N5の容量拡大の必要性が提示されている。

#### (3) 運輸・交通セクターに対する我が国の援助方針

我が国の対パキスタン国別援助方針における重点分野の一つとして「経済基盤の改善」が定められており、また、同事業展開計画では、都市交通分野の課題への対応を中心とした支援、具体的には産業集積地における日本企業の進出活動を重視した基礎的なインフラ整備の必要性を掲げており、本事業はこの方針に合致する。カラチ市の

都市交通セクターでは、「カラチ環状鉄道復旧整備事業準備調査」を実施済みである。また、全国道路セクターでは、有償資金協力「インダス・ハイウェイ建設事業（III）」（実施中）及び「東西道路改修計画事業（国道 70 号線）（I）」（実施中）、技術協力プロジェクト「NHA 教育訓練施設設立支援プロジェクト」（完了）、無償資金協力「国道二十五号線（カラローウッド間）改修事業」（完了）等の実績がある。

#### (4) 他の援助機関の対応

カラチ市の都市交通セクターでは、アジア開発銀行（ADB）がバス高速輸送システム（BRT）事業への支援を検討中である。全国道路セクターでは、主に ADB がパンジャブ州、シンド州及びバロチスタン州で、米国援助庁（USAID）がハイバル・パフトゥンハー州や連邦直轄部族地域で道路の新設・改修を実施しているが、本事業との重複はない。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、カラチ市内の国道 5 号線（Quaidabad～Pak Steel Town 区間（約 14km））において、片側 2 車線から 3 車線への拡幅及び側道（片側 2 車線）の整備により、交通渋滞緩和を図ることで、都市交通環境の改善に寄与することを目的とする。具体的には、事業区間における交通量の増加及び平均走行速度の改善等を目指す。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

カラチ市

#### (3) 事業概要 ※詳細は協力準備調査にて確認

- 1) 土木工事（既存道路 14km の拡幅等）
- 2) 機材調達
- 3) コンサルティングサービス（基本設計、詳細設計、入札補助、施工監理）

#### (4) 事業実施体制

事業実施機関： カラチ市（Karachi Metropolitan Corporation）（以下「KMC」）

#### (5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類： A

② カテゴリ分類の根拠： 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路セクターに該当するため。

2) 貧困削減促進等： 特になし。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携： 本事業を含め、KMC が実施中であるカラチ市内から N5 へ通じる幹線道路（シャラ・イ・ファイサル通り）整備事業、及びシンド州政府が進めるカラチ市内から工業地区を結ぶ BRT 事業等は、いずれも「カラチ都市交通マスタープラン」にて一体整備の必要性が提案されており、これら事業との相乗効果が期待される。

(7) その他特記事項： 特になし。

### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

過去にザンビアで実施された無償資金協力「第3次ルサカ市道路網整備計画」等では、市役所が予算確保を行い、道路保守等の維持管理を適切に実施したことから、年間を通じて良好な路面状態が維持でき、円滑な交通が確保された。

(2) 本事業への教訓

本事業の対象は、大型車両を含め特に交通量が多い区間であり、路面状態の悪化がより懸念されるため、道路の改修による誘因効果も含め、適切に交通量を予測し、十分な耐久性を有する設計とする。また、協力準備調査でカラチ市の予算の状況や維持管理体制について確認する。

以上

〔別添資料〕 地図

[別添資料]

### 事業対象都市位置図

